

復帰50周年記念事業一覧

<令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定した事業>

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
【テーマ1】事業を通して、新たな振興計画、新時代沖縄の展望を県民と共有し、沖縄の可能性を国内外に発信する。			
分野(1) 産業振興の歩みと今後の発展			
1	復帰50周年産業振興記念事業	復帰50周年の節目に、産業振興の歩みを振り返るとともに今後の発展方向性を示す記念イベント(パネル展)や冊子制作等を実施する。また、イベントに合わせて作成したコンテンツをメール、SNSを通じて発信することで、新時代沖縄の展望を広く共有する。	商工労働部 産業政策課
2	全国社交飲食業代表者沖縄大会	復帰50周年の節目に、沖縄で開催される全国社交飲食業代表者沖縄大会において、米軍統治下から復帰後今日に至るまでの、沖縄の社交飲食業(カフェー、バー、スナック等)の歩みや食文化の歴史を振り返るパネル展示を開催するとともに、これまでの歩みを記念誌として発行する。 また、シンポジウムや懇親会において、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた社交飲食業のあり方を議論し、沖縄県感染防止対策認証制度と観光業の連携等、沖縄県をはじめ全国の社交飲食業の今後の発展可能性を発信する。	保健医療部 衛生薬務課
3	ResorTech EXPO 2022 in Okinawa	復帰50周年の節目に、IT産業の高度化と県内全産業のDXを推進する展示会であるResorTech EXPOにおいて、IT産業の発展の振り返りや、持続可能なSociety5.0の社会実現に向けて、新たな沖縄のIT産業の進化と可能性を国内外に発信する。	商工労働部 情報産業振興課
4	10th 沖縄大交易会 2022	復帰50周年、沖縄大交易会10周年の節目となることから、従来のBtoB向けの商談会に加え、沖縄が「万国津梁」としての役割を担い、繁栄してきた歴史を振り返る展示ブースの設置や、県産品と全国特産品を掛け合わせた展示即売会の実施など、BtoC(県民等)向けのイベントを開催し、沖縄大交易会の認知度向上を図るとともに、「琉球王朝時代の万国津梁」の歴史と「21世紀の万国津梁」としての沖縄の魅力を国内外に発信する。	商工労働部 アジア経済戦略課
5	おきなわ工芸の杜オープニング事業	工芸の作り手を中心として工芸というテーマで一般県民や観光客が集う拠点施設「おきなわ工芸の杜」が令和4年3月に開館することに伴い、現代のライフスタイルに合った工芸を紹介する企画展の実施や、技術及びデザイン開発力の向上を目的としたコンクール・展示会の実施等、施設や沖縄工芸に関する情報を県内外に広く発信し、施設の利用を促進することにより、沖縄工芸の認知度向上を図る。	商工労働部 ものづくり振興課
6	おきなわ魅力まるごと発信事業	首都圏の沖縄ファンが集う場で、県内で実施される復帰50周年記念企画イベントのパブリックビューイングやパネル展、ネットで沖縄と繋げ行うセミナーやワークショップなどを実施し、リアルとヴァーチャルを組み合わせた情報発信や交流の活性化を図る。	商工労働部 マーケティング戦略推進課

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定した事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
【テーマ1】事業を通して、新たな振興計画、新時代沖縄の展望を県民と共有し、沖縄の可能性を国内外に発信する。			
分野(2) 活力ある農業・農村の次世代への継承			
7	第44回全国土地改良大会推進事業～復帰後50年のあゆみ～	復帰50周年の節目に、全国の土地改良関係者が一堂に会する全国土地改良大会を沖縄で実施し、パネル展示や資料集、現地視察等により本県の農業の発展を広く紹介するとともに、会場周辺に特設コーナーを設け、展示・販売等により各地の特産品のPRを行うことで、沖縄県の農業の魅力を全国へ発信する。	農林水産部 村づくり計画課
8	県立農業大学校移転整備事業	現代農業技術水準へ適応した教育施設・実習施設の整備、分散している牧草地の集約化等による学習環境の効率化等を図るため、県立農業大学校の移転整備に着手する。また、持続可能な農業の推進に向け、スマート農業等の新たなカリキュラムの導入など、沖縄県における次世代の農業を牽引していく人材育成に取り組む。	農林水産部 営農支援課

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定した事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
【テーマ1】事業を通して、新たな振興計画、新時代沖縄の展望を県民と共有し、沖縄の可能性を国内外に発信する。			
分野(3) 地域の魅力を活かし、誰もが活躍できる社会づくり			
9	復帰50周年記念・離島フェア開催支援事業	復帰50周年、新たな振興計画及び離島振興計画のスタートの年に、例年の離島フェアの開催に加え、離島振興に係るシンポジウム、歴代の優良特産品等の中から最優秀賞の選出、復帰50周年をテーマとした離島児童・生徒の作文コンクール、これまでの離島フェアの成果等を取りまとめた実績報告書の作成等を実施することで、改めて県民に離島に対する関心を持ってもらうとともに、最優秀特産品の表彰等を通して離島特産品の商品力向上・販路拡大等による産業振興を図る。	企画部 地域・離島課
10	沖縄鉄軌道導入に向けた機運醸成事業	復帰50周年という節目に、鉄軌道の導入効果を広く県民に周知し、改めて導入に向けた機運醸成を図るため、導入効果を広く県民に周知するための県内PRキャラバンやシンポジウムを開催するとともに、高校生・小学生等次世代を担う若者向けに、鉄軌道導入の効果を体験するための他県訪問やワークショップ等を実施する。	企画部 交通政策課
11	うちなー地域づくりフェスタ	復帰50周年、新たな振興計画のスタートの年に、「うちなー地域づくりフェスタ」として地域づくり団体の表彰、地域づくりシンポジウム、地域づくり事例集の作成等を実施し、人口減、若者流出等、離島・過疎地域の厳しい現状を踏まえながら、多様な主体間のつながりを強化し、地域づくり活動の魅力の発信を図るとともに、地域住民、企業等が主体的に地域づくりに参画するきっかけや、今後の地域のあり方を考える機会とする。	企画部 地域・離島課
12	女性活躍推進シンポジウム(仮称)	復帰50周年及び本県男女共同参画計画スタートの年に、本県女性を鼓舞するとともに、次の50年に向け社会に根付く固定的性別役割分担意識を打破し、誰もが活躍できる男女共同参画社会の実現に向け、沖縄県における女性活躍及び男女共同参画のさらなる推進に係る普及啓発を図るため、国内外で活躍する女性を招聘し、女性活躍推進に係るシンポジウムを開催する。	子ども生活福祉部 女性力・平和推進課

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定する事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
<p>【テーマ2】事業を通して、復帰から50年間の歴史を振り返り、先人たちの労苦と知恵に学ぶとともに、誇りある豊かさに向けた展望を発信する。</p>			
<p>分野(4) 沖縄の歴史を振り返り、発展の歩みを発信</p>			
13	「復帰50年のあゆみ」(仮称)の発刊	復帰50周年の節目の年に、復帰時点から今日まで50年間の歩みを振り返り、後世に残す記録としてまとめるとともに、沖縄県の歩みを踏まえた将来の県づくりに資するため記念誌を発行する。	知事公室 広報課
14	復帰50年特別展「沖縄 復帰後」展	復帰50周年の節目の年に、「復帰」を経験した当時の人々の思いを理解し、現代に生きる私たちが平和で文化的な豊かな沖縄づくりを継承するため、1972年5月15日を起点とした本県の発展と葛藤のあゆみを県民意識調査や外交資料、当時の映像などを展示し、過去と現在、そして未来へとつなぐ特別展を開催する。	文化観光スポーツ部 県立博物館・美術館
15	復帰50年展「琉球 -美とその背景-	復帰50周年の節目の年に、東京国立博物館・九州国立博物館と沖縄県立博物館・美術館の共催で、「琉球」をテーマとして、県内初公開となる資料をはじめ、国の重要文化財など、県外にある琉球・沖縄関係資料を紹介する、過去最大規模の展覧会を開催する。王国時代の栄華の象徴ともいえる琉球の美の世界とその背景を探りつつ、本県の歴史や文化を再考する契機とする。	文化観光スポーツ部 県立博物館・美術館
16	「アメリカ世の記憶」米軍統治下時代の証言映像収録事業	復帰50周年の節目にあたり、復帰を強く望んだ1950年代半ばから1972年の期間における米軍統治下時代の「戦後の窮乏生活」「強化される土地・土地接收」「人権抑圧」「米軍関連事件・事故」等に係る証言を収録・編集するとともに、パネルやファイル化した「読む」資料として展示する特別企画展の開催、WEB配信等を実施することで、次世代に人間の尊厳と平和の尊さを実感していただき、平和を希求する「沖縄のこころ」の継承と恒久平和の樹立を図る。	子ども生活福祉部 平和祈念資料館
17	「沖縄県史現代編」の刊行及び県内5機関連携広報普及事業	復帰50周年の節目において、米国統治下27年間や日本復帰とその後の歩み、島しょ地域の特色とこれまでの歩み、文化や観光、経済等の復帰後の展開などについてとりまとめた「県史現代」を刊行し、戦後沖縄の歴史や文化について県民が学ぶ機会を提供するとともに、次世代に継承する。 併せて、県内文化関係5機関でそれぞれ予定している復帰関連企画展示等を連携して一連の事業として広報するとともに、複数の機関が連携して展示会や講座等を行う。	教育庁 文化財課
18	沖縄の金融・経済のあゆみ	復帰50周年を機に、戦後沖縄経済史の中から、特に、①基地依存型輸入経済の成り立ち、②沖縄の通貨の歴史、③基地経済、など沖縄の金融・経済のあゆみについて、冊子、WEB、シンポジウムなどを通じ、県民をはじめ県内外に発信し、幅広い世代において沖縄が歩んできた歴史的な経済事情の理解を深めるとともに、沖縄経済の未来を展望する。	企画部 企画調整課

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定する事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
<p>【テーマ2】事業を通して、復帰から50年間の歴史を振り返り、先人たちの労苦と知恵に学ぶとともに、誇りある豊かさに向けた展望を発信する。</p>			
<p>分野(5) 沖縄からの平和発信</p>			
19	アジア太平洋地域平和連携推進事業	<p>復帰50年を迎えるにあたり、「万国津梁」を目指してきた沖縄の歴史や地理的特性を生かして、アジア太平洋地域の緊張緩和と信頼醸成に取り組む。具体的には、軍事力による安全保障ではなく、「人間の安全保障」の考え方を基軸に、沖縄県が同地域全体の平和と安定の構築に向けて積極的な役割を担うことにより、地域の緊張緩和と信頼醸成に寄与し、もって沖縄県における基地負担の軽減に繋げることを目指す。</p> <p>令和4年度は、アジア太平洋地域の緊張緩和と信頼醸成に向けた調査やシンポジウム等を通じて、沖縄県が同地域の平和と安定に寄与していく決意を国内外に発信していく。</p> <p>令和5年度以降は、前年度の取組に加え、人間の安全保障の観点で様々な分野における協力可能性等を検討し、可能な事項についてはMOU(連携協定・了解覚書)を締結する等、目に見える形の地域連携を推進していく。</p>	知事公室 基地対策課
20	米軍基地問題情報発信強化事業	<p>復帰50周年の機会に、今一度、県民・国民一人一人が沖縄の基地問題を当事者として考え、議論を深める機会を創出するため、在沖米軍基地の推移等の情報収集・整理・分析等を行うとともに、米軍基地問題の経緯等に関するシンポジウムの開催等により、沖縄の基地問題に関する正確な情報を県内外に発信する。</p>	知事公室 基地対策課
21	「駐留軍用地跡地利用のあらまし(仮称)」の発行	<p>これからの沖縄の未来に向けて、今後返還される大規模な駐留軍用地の跡地利用を県民とともに考える一助とするため、これまでの跡地利用の歴史、開発の事例、経済効果、跡地開発の標準的な流れや課題、返還予定地の未来予想図等を分かりやすく解説したパンフレットを発行する。</p>	企画部 県土・跡地利用対策課
22	第32軍司令部壕保存・公開	<p>復帰50周年の年に、首里城復興とともに保存・公開が求められている第32軍司令部壕内及び周辺環境調査を実施し、その情報発信等を行いながら将来的な公開に向けて本格的に始動する。</p>	子ども生活福祉部 女性力・平和推進課

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定する事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
<p>【テーマ3】事業を通して、祖先への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う肝心など、沖縄文化の魅力を共有し、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。</p>			
<p>分野(6) 未来へつなぐ世界自然遺産、未来へ沖縄の豊かな自然の継承</p>			
23	エコライフ&ネイチャーフェア ～ 未来へつなぐ世界自然遺産 つくろう自然史博物館 ～	県民一人ひとりが自然環境との共存について理解を深め、自らのライフスタイルを見直し、環境保全に主体的に取り組む契機とするため、従来のイベントに世界自然遺産ツアーやマイクプラスチック調査体験学習など参加体験型イベントを盛り込み、発展させた環境フェア(エコライフ&ネイチャーフェア)を開催する。	環境部 環境再生課
24	国立自然史博物館誘致推進事業	国立自然史博物館の県内誘致に向け、シンポジウム等の開催や周知啓発用ツールの活用により、自然史博物館の概要や役割、設立意義や期待される効果等について広く県民に情報発信し、理解を深めさらなる機運醸成を図る。	環境部 自然保護課
25	外来種駆除普及啓発事業(仮称)	沖縄の生物多様性の重要性を見つめ直し、外来種対策の必要性についてより理解を深め、県民一丸となり外来種の侵入・拡散を継続的に食い止め、生態系を保全していくため、外来種に関するシンポジウムを開催するとともに、「外来種バスターズ」を結成し、外来種駆除体験や駆除状況見学会を実施するなど、世界自然遺産登録地や身近な環境に潜む外来種の駆除等を行う。	環境部 自然保護課
26	全県ビーチクリーン作戦 ～50年、50ビーチで50トン～	復帰50周年を機に、県民一人ひとりの主体的な参加によって海岸漂着ごみに対する意識高揚を図り、継続的な取組に繋げるため、離島の海岸漂着物の現状を広く県民に周知する離島を対象とした海岸清掃ツアーや、本島内における市町村・ボランティアと連携した回収イベントなど、「全県ビーチクリーン作戦」を実施する。	環境部 環境整備課
27	沖縄・奄美連携交流促進事業 ～復帰50周年記念の取組～	世界遺産登録や復帰50周年を新たな契機とし、沖縄県、鹿児島県においてあらゆる分野・世代におけるより一層の交流を推進するため、両県の空港、港にて、両地域の自然や観光に係るパネル展示やセレモニーなどを実施し、両地域の復帰後の歩みや交流の歴史等を振り返るとともに、両地域の自然や観光等に係るPR等を鹿児島県と連携して実施する。	企画部 地域・離島課

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定する事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
<p>【テーマ3】事業を通して、祖先への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う肝心など、沖縄文化の魅力を共有し、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。</p>			
<p>分野(7) 沖縄文化の保存・継承・創造と発展、グローバルな交流ネットワークの形成</p>			
28	復帰50周年沖縄音楽コンサート開催事業	<p>復帰50周年の節目に、先人たちが創り上げてきた沖縄音楽の歴史と文化への理解を深め、沖縄音楽文化の継承と発展を図るため、市町村や音楽関係団体等と協力した県内5地域でのミニコンサート、ワークショップ等を実施し、多くの県民が「沖縄音楽」に触れ、学ぶ機会を創出する。</p> <p>また、時代の担い手を育成する場を設け、沖縄音楽の発展を目指すことを目的に、県内のベテラン、若手アーティストが共演する沖縄音楽コンサートを開催する。</p>	文化観光スポーツ部 文化振興課
29	第2回沖縄空手世界大会・第1回沖縄空手少年少女世界大会	<p>先人により創造され生まれ受け継がれてきた空手を保存・継承し、世界に誇れる伝統文化として世界に向けて普及・啓発するため、復帰50周年記念事業として、幼少(6歳)からシニア(60歳以上)までの全年代が演武を競う初めての世界大会を実施する。</p>	文化観光スポーツ部 空手振興課
30	「空手の日」記念演武祭(沖縄空手イベント開催事業)	<p>復帰50周年の節目に、「空手の日」及び「空手発祥の地・沖縄」を広く効果的に国内外に発信するため、「記念演武祭」において「最多人数による空手の型」への挑戦を行う。</p>	文化観光スポーツ部 空手振興課
31	「沖縄県高等学校総合文化祭及び沖縄県中学校総合文化祭」の開催	<p>多くの若者が復帰について考えるきっかけとなるよう、中高校生の文化の祭典「沖縄県高等学校総合文化祭」及び「沖縄県中学校総合文化祭」において、通常の内容に加えて復帰50周年をテーマに取り組める部門において、舞台発表や作品展示を実施する。</p>	教育庁 文化財課
32	第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業	<p>復帰50周年の節目に開催される第7回世界のウチナーンチュ大会において、今一度、ウチナーネットワークの大切さ、強固さを確認し、県民との交流促進、未来を担う次世代育成等を通して、その継承・発展を図る。</p>	文化観光スポーツ部 交流推進課ウチナーンチュ大会開催準備室
33	北前船寄港地フォーラム in Okinawa	<p>「北前船寄港地」ルートを点から面へ、回廊として発展させ、地域活性化を図る北前船寄港地フォーラムを復帰50周年記念事業として本県で開催する。</p> <p>江戸時代後期、北海道で収穫された昆布が、薩摩から琉球を経て、中国(清)に届けられたことから、①アジア諸国との交易・交流の歴史を振り返るとともに、②コロナ収束後を見据えて、北前船寄港地と昆布ロードをつなぐ観光・文化交流の可能性を探ることをテーマに、本フォーラムを開催する。</p>	文化観光スポーツ部 交流推進課

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定する事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
<p>【テーマ4】令和4年度に着工または完成(一部完成)し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクト等を県民をはじめ県内外に周知し、利用を促進するとともに、本県経済社会の自立的な発展を推進する。</p>			
<p>分野(8) 県民生活や経済活動を支える社会基盤の利活用に向けて</p>			
34	沖縄都市モノレール3両化事業	<p>復帰50周年の節目の年に、沖縄都市モノレールの3両化に係る新車両基地の整備に着工することから、沖縄都市モノレールの更なるイメージアップ及び利用促進を図り、今後もより多くの県民に親しまれ、愛される公共交通機関を目指すため、起工式を開催し、車両リニューアルに向け事業に着手することをアピールするとともに、今日までの50年のあゆみをパネル展等を通じて広く県民等へ発信する。</p>	<p>土木建築部 都市計画・モノレール課</p>
35	金武湾港海岸(ギンバル地区)供用開始式典	<p>金武湾港海岸ギンバル地区の海岸環境整備事業が令和4年8月に完成・供用することから、復帰50周年記念事業として、供用開始式典を行うとともに、金武町と連携・協力し海開き等のイベントを行い、駐留軍用地跡地利用の効果として広く県民にアピールする。</p>	<p>土木建築部 海岸防災課</p>
36	情報通信基盤整備の推進事業	<p>沖縄本島と北大東島を結ぶ中継伝送路の完成により、県内全ての自治体が海底光ケーブルで繋がり、様々な分野においてICT施策の展開が推進され、デジタル社会が進展することから、新たな飛躍を展望する大型プロジェクトとして、開通式典の開催等を通じ、県内外に周知する。</p>	<p>企画部 情報基盤整備課</p>
37	令和首里城復興イベント(仮称)	<p>復帰50周年の年に、首里城正殿の復元に着手することから、平成の復元時に行われた大規模イベント「木曳式(こびきしき)」に倣い、県産木材等を活用する自治体や関係団体と連携して木曳パレード及び木遣(きやり)行列を実施し、琉球の歴史・文化の象徴である首里城の魅力を再認識する機会を提供するとともに、今後の復興過程や周辺環境整備も含めた首里城の新たな文化を創出する展望について県内外へ発信する。</p>	<p>土木建築部 都市公園課</p>
38	沖縄の風景づくり復帰50周年記念事業	<p>復帰50周年を機に、沖縄の風景の変遷を振り返るパネル展を実施するとともに、シンポジウムを開催し、県民意見も踏まえた「今後の沖縄の風景づくりのあり方」をとりまとめ、これを参考に県、市町村等が今後の風景づくりを行うことで、県民がより沖縄に愛着を持つ復帰100年後の風景づくりへつないでいく。</p>	<p>土木建築部 都市計画・モノレール課</p>
39	おきなわみずまつり(令和4年度水道週間)	<p>復帰50周年の節目に、県民が水の大切さを再認識できる機会として、水道週間イベントの「おきなわみずまつり」等において、歴史的資料の公開や水源地・浄水場ツアー等を実施し、これまでの先人達の水の確保に対する智恵や苦労を重ねてきた歴史を振り返るとともに、水源地域への感謝と理解を深める。</p>	<p>企業局 総務企画課</p>

復帰50周年記念事業一覧

＜令和4年2月に復帰50周年記念事業として追加決定する事業＞

R4.2.7

番号	事業名	事業概要	担当課室
40	高校生提案復帰50周年記念事業 ・Let's pick up & making ・自然環境保全プロジェクト	【Let's pick up & making】 高校生の事業案を基に実施する事業である。 次世代を担う高校生が、次の世代である小学生とともに、地元の海岸のビーチクリーンを実施し、回収した海岸漂着物でアート制作を実施する。 八重山を含む、県内複数地域で開催する予定。	企画部 企画調整課
		【自然環境保全プロジェクト】 高校生の事業案を基に実施する事業である。 次世代を担う中高校生が、国立公園等における自然環境観察等や、他県高校生との環境に関するディスカッションを通じて、地域の自然環境について自ら考え、また、その魅力を再認識する取組。	